

2021年度事業報告書

(2021年4月1日～2022年3月31日)

(敬称略)

第1事業の状況

1 「公益目的事業」(公1)の実施状況

(1) 鑑賞会事業—芸術文化に関する鑑賞会の開催(定款第4条第1項)

事業収入なし

鑑賞会事業支出(予算) 3,640,000円

鑑賞会事業支出(実績) 2,362,718円

A 「音楽鑑賞会」の開催

【1】実施した事業

- ① 北海道立帯広美術館において、十勝地方ゆかりの若手音楽家によるコンサートを開催した。
(共催)

【Art Ensemble#12 北海道立帯広美術館 開館30周年記念コンサート】

企画名：弦楽で歌う音楽と絵画の世界

日時：2021年8月14日(土) 11:00開演/14:00開演

会場：北海道立帯広美術館 1階ロビー

出演：月下愛実(ソプラノ)、鈴木京(ヴァイオリン)、鈴木初(コントラバス)

選考：十勝管内出身もしくは在住の若手音楽家(グループ)を公募により選考

入場数：2公演合計70名(席数限定/事前予約制)

入場料：無料

内容：北海道立近代美術館から地方の美術館へ会場を拡大したシリーズの3回目。

開館30周年を迎えた帯広美術館の記念事業と重ね、共催により開催した。

鹿追町在住の若手音楽家が中心となってトリオを組み、地元住民への感謝をこめた演奏を披露した。コロナ禍の中、アクリル板の設置や完全予約で入場を制限するなど厳しい条件ではあったが、来場者からは開催を喜ぶ声が数多く聞かれた。若手音楽家にとって感染防止対策など自主開催が難しい中、財団・美術館共催でのコンサート出演は大変有意義なものとなった。

- ② 北海道立函館美術館において道南地方ゆかりの若手音楽家によるコンサートを開催した。
(2020年度の延期公演・共催)

【Art Ensemble #13 北海道立函館美術館コンサート】

企画名：フルートとピアノで紡ぐ 秋の幻想

日時：2021年10月30日(土) 11:00開演/14:00開演

会場：北海道立函館美術館 1階ホール

出演：佐々木花菜、佐々木萌絵(フルート)、河村亜寿香(ピアノ)

選考：渡島・檜山管内出身もしくは在住の若手音楽家(グループ)を公募により選考
なお、選考は2020年度に終了している。

入場数：2公演合計140名(席数限定/当日整理券配布制)

入場料：無料

内容：前記①に続くシリーズ4回目。

本来は2020年度事業として計画されたが、新型コロナウイルス感染拡大のため延期となっていた。函館美術館にとっては2020年2月の緊急事態宣言以来初の音楽イベント開催となった。函館市在住・出身で、地元根差した演奏活動を続ける若手音楽家がトリオを組み、それぞれの留学経験からその研鑽の成果をプログラムに盛り込み演奏した。早朝から整理券を求める人が訪れ、すぐに満席となった。高齢者や高校吹奏楽部、音楽教室に通う児童も多く訪れ、鑑賞者・出演者双方にとって充実した演奏会となった。久々のコンサート開催に地元マスコミからも大きく取り上げられた。

- ③ 小川原脩記念美術館において、道内で活躍する若手音楽家によるコンサートを開催した。
(共催)

【Art Ensemble #14 小川原脩記念美術館コンサート】

企画名：ヒカイ・クアルテット～フルート四重奏の愉しみ～

日時：2022年1月23日(日) 14:00 開演

会場：小川原脩記念美術館 ロビー

出演：HIKAY Quartet 山田慶一(代表/チェロ)、按田佳央理(フルート)、
林ひかる(ヴァイオリン)、今井佑佳(ヴィオラ)

選考：公募・選考により2020年度に「しりべしミュージアムロード・コンサート」出演
が決定したグループに出演を依頼した。

入場数：80名(席数限定/事前予約制)

入場料：無料

内容：前記②に続くシリーズ5回目。

コロナ禍の中、後志地区において、主に町民を来場者の対象とし、町外からの演奏家を迎える安全なコンサートの開催実現を目指した試行として開催した。

HIKAY Quartet は道内ゆかりの若手音楽家により2年前に結成されたカルテットで、2020年から延期が続く「しりべしミュージアムロード・コンサート」に出演を予定していた。出演者・来場者各々に、諸々の感染防止対策に快く協力いただき、安全に豊かな音楽を愉しんでいただくことができ、コロナ禍でのコンサート開催に向けた指針が確認できた。

【2】実施できなかった事業

主催・共催ともに予定していた以下のコンサート開催は、新型コロナウイルス感染拡大防止等のため中止、または次年度以降に延期した。

① 【道銀文化財団 ARTIST BANK 2021 北海道銀行本店ロビーコンサート】

北海道銀行本店ロビーにおいて、北海道を代表する芸術家の鑑賞会シリーズとしてコンサートを1回開催予定したが、2022年度に延期。
(主催)

② 【道銀文化財団 CLASSIC ♪FAN #3・4 北海道銀行本店ロビーコンサート】

北海道銀行本店ロビーにおいて、現在北海道で精力的に活動する中堅音楽家による、クラシックファン拡大を目的とした「オトナのためのコンサート」の開催を2回予定したが、いずれも中止。
(主催)

③ 【Art Ensemble #15・16 北海道立近代美術館コンサート】

北海道立近代美術館において、北海道ゆかりの若手音楽家によるコンサートの開催を2回予定したが、美術館の緊急改修工事により全館休館となったため2022年度に延期。
(共催)

④ 【しりべしミュージアムロード・コンサート 2021】

しりべしミュージアムロードに加盟する後志地区5美術館ロビー等において、北海道ゆかりの音楽家によるコンサートを計5回開催する予定は、2022年度に延期。
(共催/実行委員会)

B 「美術鑑賞会」の開催

- ① 北海道立近代美術館と北海道立三岸好太郎美術館において、開催館2館と北海道銀行、当財団との共催により道銀芸術文化奨励賞作家の作品展と北海道銀行所蔵作品による美術展を開催した。
(共催)

【アートギャラリー北海道 展覧会 2021

北海道銀行創立 70 周年記念・道銀文化財団創立 30 周年記念 美術展】

a. 企画名：道銀芸術文化奨励賞受賞作家展

会 期：2021 年 9 月 15 日(月)～11 月 7 日(日)

会 場：北海道立近代美術館(常設展示室 2 階)

出展者：道銀芸術文化奨励賞美術部門受賞者 25 名(故人含む)

観覧料：先着 4,000 名招待、7,745 名入場

内 容：受賞当時の作品から新作まで、それぞれの美術家が渾身の作品を披露した。絵画、彫刻、インスタレーション等多岐にわたる作品のジャンルと、来場者層の幅の広さや専門家らの関心の高さからも、その後の受賞作家らの目覚ましい活躍ぶりがうかがわれ、本賞が「奨励賞」として授与され、その後の芸術活動の後押しとなっていることを改めて証明するものとなった。財団の歴史や設立理念などのパネルも併せて展示した。札幌国際芸術祭実行委員会からも注目いただき、受賞作家のプロフィールをまとめたリーフレットの作成や、一人一人のインタビューをWEB上で動画配信するなどの協力を得た。

b. 企画名：北海道銀行コレクション

会 期：2021 年 9 月 15 日(月)～11 月 23 日(火)

会 場：北海道立三岸好太郎美術館

展示品：北海道銀行所蔵作品(一部木田金次郎美術館所蔵作品含む)

観覧料：先着 4,000 名招待、3,747 名入場

内 容：独立美術協会の創立を担った作家の優品を中心に木田金次郎美術館の協力を得て木田金次郎作品と併せて展示した。

- ② 北海道銀行本店ロビーにおいて、北海道を代表する芸術家の鑑賞会シリーズとしての美術展は会場空間に余裕があり、新型コロナウイルスの感染リスクが低いと判断し 1 回開催した。
(主催)

【道銀文化財団 ARTIST BANK 2021 北海道銀行本店ロビー展】

企画名：柿崎熙展 林縁から一胚胎

会 期：2021 年 8 月 3 日(月)～10 月 1 日(金) 平日 9:00～15:00

会 場：北海道銀行本店営業部 1 階ロビー

出展者：柿崎熙(彫刻家)

観覧料：無料

内 容：北海道の美術界を牽引してきた美術家を招いて開催した。

第 4 回目となる今回は、北海道を代表する彫刻家として世界的にも著名な柿崎熙が木彫の立体造形作品と野鳥画によるインスタレーション展を開催した。コロナ禍にあって数々のイベントが中止される中、営業を続ける銀行ロビーにおいて芸術鑑賞の機会を設けることができたことは意義が大きい。自粛の続く道民の生活に芸術に触れる新鮮な感動とひとときの癒しを与える良い鑑賞機会となった。

- ③ 「らいらっく・ぎやらりい」において、北海道ゆかりの芸術家による美術展を 1 回開催した。
(主催)

【道銀文化財団企画展 ■CUBE■2021】

企画名：椎名澄子・小さいうた

会 期：2021 年 12 月 14 日(火)～2022 年 1 月 15 日(土)

照明点灯時間 7:00～20:00 年末年始(12/31～1/3)を除く

会 場：「らいらっく・ぎやらりい」(北海道銀行本店ビル 1 階)

出展者：椎名澄子(彫刻家)

観覧料：無料(ギャラリーの外からガラス越しの鑑賞)

内 容：年末年始を利用し、立体・空間造形を手掛ける美術家による、施錠されたギャラリーを一つの展示ケースに見立てたインスタレーション作品展シリーズ。今年度は旭川市在住の彫刻家椎名澄子によるブロンズ製の子どもの像と新たに制作された銅板の葉 520 枚によるインスタレーション作品を展示した。CUBE 展は三密回避の観点からコロナ禍にも対応可能な展示方式として、作家にとって制作発表の機会が制限される中、安全に個展を開催することができた。日常の中に溶け込むような空間展示は、多くの道民が気軽に芸術に触れリフレッシュできる良い機会となった。

- ④ 北海道銀行本・支店ロビーにおいて、北海道で美術を学ぶ学生や高校美術部生の作品展を
通年で開催した。(北海道銀行本・支店との共催)

(a) 【北海道銀行本店ロビー展】

会 期：2021 年 4 月～11 月 / 平日 9:00～15:00

会 場：北海道銀行本店営業部ロビー

出展校：札幌大谷大学、札幌武蔵野美術学院、星槎道都大学、北翔大学、北海道教育大学岩見沢校

観覧料：無料

内 容：公募展受賞作品など各校の選抜作品を、公共の場ともいべき銀行ロビーで展示し、より身近に道民が美術鑑賞を楽しむことができた。道内で美術を学ぶ学生たちの創作活動への励みとなる発表の機会を提供した。

(b) 【北海道銀行本店ロビー展】

企画名：現在(いま)を見つめる眼 Vol. 16 ～全国にはばたく北海道の高校生たち

会 期：2022 年 1 月 4 日(火)～4 月 1 日(金) / 平日 9:00～15:00

会 場：北海道銀行本店営業部ロビー

出展校：北海道札幌厚別高等学校(美術部)他、道内高等学校計 10 校

観覧料：無料

内 容：2022 年度高文連全国高等学校総合文化祭美術工芸部門推薦の平面作品 10 点を展示し、多くの道民が高校生作品の芸術性の高さに感動した。美術部生徒の創作活動への励みとなる発表の機会を提供した。例年通り、出展 10 作品には当財団より特注額を贈呈した。

(c) 【北海道銀行支店ロビー展】

会 期：通年 / 平日 9:00～15:00

会 場：北海道銀行宮の森パーソナル支店、屯田パーソナル支店、旭ヶ丘支店、白石支店(以上札幌市)、大麻支店(江別市)、岩内支店(岩内町)

出展校：札幌西高等学校、札幌北陵高等学校、市立札幌旭丘高等学校、札幌啓成高等学校、大麻高等学校、江別高等学校、岩内高等学校

観覧料：無料

内 容：各校美術部生徒の作品 1～2 点ずつを概ね 1 か月ごとに作品を入れ替えながら展示し、多くの地域住民が地元の高校生の感性豊かな作品を鑑賞した。鑑賞者にとっては、新しい作品を楽しみに来店し、美術部生徒も展示を目標に意欲を持って取り組み、創作活動への励みとなる発表の機会を提供した。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため展示入れ替えのサイクルを減らして展示を継続した。

- ⑤ 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、「らいらっく・ぎやらりい」では利用予定者からキャンセルの申し出が相次ぎ、さらには受賞記念展も延期となった。また、札幌駅前支店「道銀ミニ・ギャラリー」では冬期間の利用がなかったことから、これらの期間を利用して北海道の美術家による美術展を CUBE 展方式などで 4 回開催した。(主催)

【道銀文化財団アーティストファイル】

- a. 企画名：佐藤千穂展「La Luz ーひかりー」
 会 期：2021 年 9 月 14(火)～10 月 3 日(日)
 出展者：佐藤千穂 (美術家・2018 年度道銀芸術文化助成事業に採用)
- b. 企画名：前田健浩展「魔女の日」
 会 期：2021 年 11 月 1 日(月)～14(日)、22 日(月)～28 日(日)
 出展者：前田健浩 (画家・北海道西高等学校美術教諭/西高はロビー展対象校)
- c. 企画名：太子弘和展「扉 ～出合い～」
 会 期：2022 年 2 月 5 日(土)～20 日(日)
 出展者：太子弘和 (画家・北海道大麻高等学校美術教諭/大麻高校はロビー展対象校)

(上記 a～c 事業共通)

会場等：「らいらっく・ぎやらりい」(北海道銀行本店ビル 1 階)

照明点灯時間 7:00～20:00

観覧料：無料(ギャラリーの外からガラス越しの鑑賞)

内 容：それぞれの美術家が得意とする平面作品(アクリル画・日本画・油彩画)を中心に壁面をコラージュしたり、インスタレーション風に構成を工夫しながら展示した。コロナ禍においても対応可能な CUBE 展方式により財団とゆかりのある道内美術家に発表の機会を提供し、道民にも気軽に安心して芸術鑑賞を楽しむための企画展を開催した。普段教える側の美術教諭 2 名も加わり、その芸術性が表現された展示は、指導を受ける生徒にも大きな影響を与えた。

d. 企画名：上ノ大作々品展

会 期：公開制作 2022 年 2 月 17 日(木)～23 日(水)

完成公開 2022 年 2 月 24 日(木)～3 月 30 日(水)

出展者：上ノ大作(陶芸家・造形家 2016 年度 第 26 回奨励賞受賞者)

会場等：札幌駅前支店「道銀ミニ・ギャラリー」

照明点灯時間 7:00～21:00

観覧料：無料(ATM コーナー併設のオープンギャラリースペース)

内 容：木彫作品の他、竹ひごを素材とする立体造形作品を会場で 1 週間ほどかけて公開制作し、展示されたインスタレーション作品は銀行ロビーを会場とした展示の概念を大きく変えたと言える。コロナ禍においても対応可能なオープンギャラリーにて、奨励賞美術家に発表の機会を提供し、道民にも気軽に質の高い芸術鑑賞を楽しむための企画展を開催することができた。

(2) 助成事業—その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (定款第 4 条第 4 項)

	事業収入なし
助成事業支出(予算)	2,365,000 円
助成事業支出(実績)	2,298,900 円
*うち助成金	2,250,000 円

北海道を拠点に活動する芸術家や芸術文化団体を対象に、その優れた芸術創作活動を支援するために「道銀芸術文化助成金」を交付した。

また、昨年度に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大防止のため開催を中止・延期した先に対し、すでに事業費用の支出が発生したものについては助成金額を上限に助成金を交付した。

さらに、次年度以降同様の内容で申請があった場合は優先して選考することとした。

A 2021年度 助成事業

助成対象先 40 件中 39 件に助成金を交付した。

- ・ 36 件は計画書の通り開催した。
- ・ 3 件は中止または延期したが、いずれも全額助成金を交付した。
- ・ 1 件は申請者の手続き不備により「取り消し」とした。

B 2022年度 助成事業

公募・選考を行い、2021 年度第 3 回理事会にて対象事業を決定した。

公 募：2021 年 10 月 25 日～12 月 25 日

選考委員会：2022 年 1 月 25 日(火)北海道銀行別館ビルにて開催

前川公美夫(選考委員長)、國松明日香(選考副委員長)、

八木幸三、柴勤(以上 4 名)

応募総数：41 件(音楽部門 24 件、美術部門 17 件)

選考の結果：候補者 31 件(音楽部門 20 件、美術部門 11 件)を選出し、決定した。

(3) 奨励事業—芸術文化に関する優れた活動を行うものに対する顕彰(定款第 4 条第 2 項)

	事業収入なし
奨励事業支出(予算)	1,165,000 円
奨励事業支出(実績)	1,167,427 円
＊うち賞金	1,000,000 円

優れた芸術文化活動により将来を嘱望され、北海道の芸術文化の進展に貢献する芸術家に対して「道銀芸術文化奨励賞」を贈呈し、賞金を授与した。

A 【2021 年度 第 31 回 道銀芸術文化奨励賞 選考委員会】

開催日：2021 年 10 月 20 日(水)

会 場：北海道銀行本店ビルにて開催

出 席：前川公美夫(選考委員長)、柴勤(選考副委員長)、
本堂知彦、八木幸三、久米淳之、佐藤康平(以上 6 名)

B 【2021 年度 第 31 回 道銀芸術文化奨励賞 贈呈式】

2021 年度内に予定された贈呈式開催が延期となり、2022 年度事業として 4 月 7 日に開催した。なお、賞金のみ当初の開催予定日であった 2 月 4 日に授与した。

開催日：2022 年 4 月 7 日(木)

会 場：北海道銀行本店ビルにて開催

受賞者：音楽部門 倉岡陽都美(声楽—ソプラノ)
美術部門 吉田みなみ(彫刻—石膏)

音楽部門受賞者は 2023 年度以降に開催する「道銀ライラックコンサート」にて札幌交響楽団と共演予定。また、美術部門受賞者の受賞記念展(ギャラリー事業)は年度内の開催を延期し、2022 年 4 月に開催した。(後記参照)

(4) ギャラリー事業—芸術文化に関する創作発表と鑑賞機会提供のための施設の管理運営
(定款第4条第3項)

ギャラリー事業収入(予算)	1,099,000円
ギャラリー事業収入(実績)	741,000円
ギャラリー事業支出(予算)	305,000円
ギャラリー事業支出(実績)	140,990円

北海道銀行から施設の無償貸与を受け、北海道銀行本店ビル1階の「らいらっく・ぎやらりい」と札幌駅前支店「道銀 ミニギャラリー」を運営した。いずれも新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、一部期間の利用を出展者からの申し出により中止した。

なお、特例として新型コロナウイルス感染が沈静化するまで、直前のキャンセルでもキャンセル料を免除している。

A 「らいらっく・ぎやらりい」

- ① 一般利用者からの予約を先着にて受付け、27週の個展、グループ展等へ貸出した。
- ② 道銀芸術文化奨励賞受賞を記念して、主催により企画展を開催する予定だったが、都合により2021年度内の開催を延期し、2022年度事業として4月に開催した。
企画名：第31回 道銀芸術文化奨励賞受賞記念 吉田みなみ展
会期：2022年4月5日(火)～4月10日(日) *当初の予定は2月2日(水)～20日(日)

B 札幌駅前支店「道銀 ミニギャラリー」

- ① 一般利用者からの予約を先着順にて受付け、2週間1単位で12単位の個展、グループ展等へ貸出した。

2 「その他事業」(他1)の実施状況

連携支援事業—その他この法人の目的を達成するために必要な事業
(定款第4条第4項)

	事業収入なし
連携支援事業支出(予算)	500,000円
連携支援事業支出(実績)	500,000円

道内各分野の芸術文化団体の活動を支援するために、その主催する事業に対し協力した。

当年度は公益財団法人札幌交響楽団の演奏活動を支援し、寄附及び協賛をした。

また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により同楽団の運営が困難を極めたことから、昨年度同様に追加支援を行った。

2021年4月 「パトロナージュ会員」年会費として計400,000円 (一口200,000円)

2021年12月 「新進演奏家育成プロジェクト」協賛金として100,000円

3 事務局の管理・運営(法人会計)の実施状況

	事業収入なし
管理費支出(予算)	360,000円
管理費支出(実績)	219,885円

- ① 各事業の実施に向けた事務局の管理運営を行った。
- ② 財団創立30周年であることから役員を中心に懇談の席を設ける予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大のため開催を中止した。

4 2021年度収支決算 (2022年3月31日現在)

(単位：千円)

	期初予算	決算	備考
収入合計	6,360	6,006	
(公1) 事業費支出	7,475	5,970	
(他1) 事業費支出	500	500	
(法) 法人会計支出	360	219	
支出合計	8,335	6,689	
当期収支差額	△1,975	△683	

※ 2021年度末資産

	期初予算	決算	備考
前期繰越金	336,617	336,617	
現金預金	5,801	5,801	普通預金(前受金42,000円含む)
特定資産(公益事業活動資産)	4,130	4,130	定期預金
特定資産(鑑賞会事業活動資金)	10,005	10,005	定期預金
基本財産	316,681	316,681	投資有価証券・定期預金
次期繰越金	334,642	332,677	
現金預金	3,826	5,085	普通預金(前受金14,000円含む)
特定資産(公益事業活動資産)	4,130	4,084	投資有価証券・定期預金
特定資産(鑑賞会事業活動資金)	10,005	10,010	定期預金
基本財産	316,681	313,498	投資有価証券・定期預金

* 予算に記載した次期繰越金の基本財産額は、前期繰越金から変動のないものとして表示する。

* 決算に記載した次期繰越金の基本財産額は、決算日の市場価格に基づく時価法により算出している。